

夏休みのお手伝い 子どもたちで田車押し



【田車】
田んぼの除草をする農具。ツメがついた歯車を稲のあいだを歩きながら、押して回すと、ツメが草に引っかかり除草するもので、昔ながらの除草法です。

1 / 左から長男・咲太さん（中央中2年）、次男・地悠さん（水之上小6年）、長女・和子さん（水之上小3年） 2 / 田車を押す様子

8月12日、市民の方から「水之上の田んぼで田車を押ししている子どもたちを見かけました。微笑ましい光景なのでぜひ取材をしてほしい」と電話があり、たまたま別件で付近を通ると、暑期中、田んぼで一生懸命に作業をしている子どもたちを発見しました。子どもたちは、水之上地区在住で農業を営む山田一生さんの長男・咲太さん、次男・地悠さん、長女・和子さんで、3人は、田車という稲の間を除草する器具で田仕事の手伝いをしているところでした。子どもたちは「大変だけど楽しいです」と泥んこになりながら、笑顔で取材に応じてくれました。おいしいお米のため、お手伝い頑張ってください。

市内全ての消防団に、財団法人自治総合センターが実施するコミュニティ事業により、「エンジンカッター」が整備されました。これは、宝くじの助成金を財源としたもので、8月20日には、消防本部内で各分団から2人が参加し、安全操作技能講習を実施しました。今回、整備したエンジンカッターを含め、それぞれの消防団が配備する安全装備品を活用した訓練を重ねることで、地域の防災力の向上につながるものと期待されます。



消防団へ宝くじ助成で
安全装備品を整備

垂水メジャーボーイズ 今季初優勝！



8月1・2日、ベースボールフェスタ in 霧島が開催され、垂水メジャーボーイズ少年団が見事、優勝しました。2月の新チーム結成後、新型コロナウイルスの影響で2回目の大会で栄冠を手にしました。野球関係者の間では、今年のチームは、全国大会出場を狙える好チームと言われており、キャプテンの永田陽士さん（垂水小6年）は「コロナで試合ができませんが、今年初めての大会で優勝できました。諦めず練習してきたよかったです」と話しました。スポーツの秋、益々のご活躍を願っています。

8月7日、牛根小学校で移動教育委員会と地域住民代表との意見交換会を開催しました。これは、地域に出向き、より身近な場所で定例会会議を行うもので、教育委員会の事務の点検・評価についての議案審議等が活発に行われました。また、意見交換会では、教育委員と地域住民代表（牛根小PTA代表他5人）で「子どもの健全育成のために、地域の特性を生かしながら、学校と家庭、地域がどのように連携を図ればよいか」をテーマに意見交換を行いました。



移動教育委員会と
意見交換会

地域の温かい思い 令和2年7月豪雨災害義援金



9月4日、垂水地区の各振興会と垂水地区公民館が協力し集めた令和2年7月豪雨災害への義援金を、垂水市社会福祉協議会へ贈呈しました。今回の義援金は総額842,200円で、社会福祉協議会から日本赤十字社を通じて、被災地へ届けられます。